

特集

分娩期と産後にも 活用したい超音波

妊娠中、健診で胎児の様子を確認したり、コミュニケーションツールとしても超音波を使用している助産師さんは多くいらっしゃると思います。本特集では、主に「分娩中」と「産後」の超音波の役立て方に注目します。例えば分娩中は胎児心拍や胎児の下降をみたり、胎盤早期剥離、回旋異常をみたりすることもできます。また産後は膀胱の残尿量のチェックや、恥骨直腸筋の評価も可能です。助産師が臨床現場で、今以上に超音波を活用できるヒントをご紹介します。